

6の3 体育科学習指導案

7月5日(火) 2限
運動場 島貫 由郷

1 単元名 ボール運動 ベースボール型

2 単元のねらい

- ・ルールを守り仲間と協力し励まし合い、安全に楽しむことができる。(関心・意欲・態度)
- ・仲間と動きを見合って、攻撃時の打撃や走塁、守備時の動きについて考えることができる。(思考・判断)
- ・ボールや人の動きに応じて打つ・走る・投げる・捕るなどの動きができる。(技能)

3 単元でめざす学ぶ楽しさ

仲間と息を合わせたり声をかけ合ったりしながら、相手の動きに応じて攻撃や守備をする楽しさ

ベースボール型ゲームは相手チームと攻守を交代しながら得点を競い合うゲームである。攻守が入り混じるゲームと違い、攻撃と守備がはっきりと分かれているため、経験が少ない子にとっても何をすべきかが判断しやすいゲームである。また、一人ひとりの役割が明確で、流動的に攻撃するゲームと違い個人の攻撃の時間が保障されているため、ゲーム中でも味方と声をかけ合ったり、教え合ったりしながら、教えられたことをその場で実現しようとするのが可能である。経験者でなくても味方にアドバイスをしやすくどの子にとっても様々な立場や役割での活躍のチャンスが多いと考える。

攻撃では、味方がトスしたボールを力いっぱい打ち相手の動きに応じて一つでも先の塁に進塁するために走る。相手の位置や動きを見ながら自分のタイミングで打つことができ、力いっぱいバットを振って球が遠くへ飛んでいった時には大きな爽快感を味わえる。またトスを自チームの味方にしてもらうため、良い打球が飛んでいった時には互いの息が合った実感を味わうことができる。走塁の際にも、相手の動きに応じて味方で声をかけ合って進塁するかどうかを考えて走るため、上手くいった時にはチーム全体で喜びを分かち合うことができる。

守備では、相手の動きに応じてポジションを考えたりアウトにする場所を考えたりする。一つでも多く進塁されないために、声をかけ合ってボールを運ぶ。味方の技能を考慮しボールを投げたり受けたりカバーをしたりするなど、子ども同士の心の交流も期待できる。

4 単元計画(総時数6時間)

主な活動と内容	学ぶ楽しさを味わうための手だて
1 試しのゲームをする(1時間) ○試しのゲームをやってみよう ・上手に打てないな ・遠くに打って、たくさん点を取りたいな	(1)特性・魅力を味わうルールと場づくりをする どの子もベースボール型の特性を味わえるようにするために、ルールを簡易化する。
2 チームが勝つ方法を考え練習する(5時間) ○よりたくさん点数を取るには ・球を強く打って遠くに飛ばさないとね ・走塁は相手の動きを見て、仲間が声をかけてやろう ○得点を少しでも取られないためには ・ボールの行方を見て、カバーやフォローをしないとね ・離れた場所からは投げた方が早いよ ○どんな練習が必要かな(本時) ・トスバッティングでたくさん打つ練習をしないとね ・ベースランニングで走塁の練習もした方がいいよ ・ノックをして守備の練習をしよう	(2)考えや動きのイメージを共有できるようにする 大切な動きをチームで共有できるようにするために、ゲーム中の大切な動きを習得するための練習メニューを考えさせる。 (3)動きの変化を実感できるようにする 練習をすることで成長したという実感を得られるようにするために、チーム内でのふり返りの時間を確保し、成果と課題を話し合いで明確にさせる。